

この「かけはし」は、日本にいる外国人の方たちが日本での生活に不自由しないようサポート活動を行っている国分寺市国際協会・日本語教室の広報紙です。教室での活動を年2回に分けてご紹介しています。今回は、昨年11月から今年5月まで教室内外で実施されたいろいろな行事のご紹介です。

令和

代表 石野 信子

日本では、5月1日に新しい天皇が即位し、元号が平成から令和に改まりました。西暦以外に元号を使う国は世界で日本だけです。「令和」は日本の民衆の古典である万葉集から取られました。万葉集の研究で有名な中西進先生は、実は私の高校時代の古文の先生でしたが、「令」には善なるもの、美しいものの意味があり、「今ある平和な世の中をより美しいものとして築き上げていこう」という和への働きかけが令和です」と述べられています。外務省は「令和」を「Beautiful Harmony」と訳しました。一つの漢字に込められた意味は、奥深いものだと改めて知りました。令和の時代に入り、さらに日本語教室のために皆さんと力を合わせて進んでいきたいと思えます。

2018年 国際交流フェスタ

11月19日、国際交流フェスタがリオンホールで行われました。来賓の方々のご挨拶の後、日本語スピーチが始まりました。日本語教室昼、夜間の学習者、親子サロンからの出場者など7名のスピーチがあり、日本語教室夜間からも3名が発表しました。会場の満員のお客様からたくさんの拍手を頂き、出場者の皆さんはホッとした嬉しそうな表情が印象的でした。

<国分寺市国際交流イベントに参加した学習さんの感想>

(中国の方)

11月19日(月)(約8カ月前)、年に一度の国分寺市国際交流イベントに参加し、スピーチ大会に出させていただきましたが、忘れられない思い出になり、参加してよかったと思えます。

[ここに入力]



スピーチ大会に誘われた時には、「これまで何回もスピーチ大会に出たことがあるから、楽々」と思っていました。そして、原稿作成から仕上げまで真木さんに繰り返し添削してもらい、時間を測って、大丈夫だと太鼓判を押していただき、自信满满会場に臨みました。お客様がだんだん会場に入ってきて、ほぼ満席になって、そして市長さんもいらっしやっただけで、思わず緊張感が上がりました。スピーチ大会が無事に終わった後は、お祭りの踊りの出番となりました。踊る団体のあとについて、皆が立って音楽に合わせて一緒に踊ったり歌ったり喋ったりして、会場はずいぶん盛り上がり上がっていきました。世界各国から来た、経歴、年齢が違う、知り合いではなかった方々が一つのイベントを通してお互いに、もしくは日本の方々としり合い、繋がり合い、笑い合い、その時「これが本番

なんだ」と気づきました。皆の笑顔、特に日本の
 方々の笑顔を見て、私は外国人として、日本人の「外国
 が知りたい、外国人と交流したい」という思いの強さ
 を感じました。次の交流イベントを楽しみにしたいと
 思います。

年末お楽しみ会



2018年最後の教室で、恒例の年末お楽しみ会が開
 催されました。スタッフは朝から材料の買い出しに走
 り、家で作った料理を持ち込んだりして、たくさん
 食べ物を用意しました。さ
 らに学習者の中からも、
 手作りの韓国料理、中国
 料理、パルー料理などが提
 供され盛りだくさんになり
 ました。



食べることが一段落したあとは、男女対抗歌合戦や
 みんなでジェンカを踊
 ったり、プレゼント交換
 やビンゴ大会など普段
 の教室では見られない、
 年に一度のお祭りにな
 りました。

節分

日本語教室では、学習日の1月30日、節分の
 行事をしました。まず、スタッフが節分についての
 説明をしました。そのあと、鬼のお面をかぶった10人
 ぐらいの学習者さんたちが登場。みんなで「鬼は
 せと 外！福は内！」のかけ声をかけて、豆まきをしながら、
 教室のなかをねり歩きました。

<節分に参加した学習さんの感想>

(中国の方)

2月3日は節分です。そして、
 私は日本にきて、はじめての



節分です。クラスでせんせいがわたしたちに節分とは
 何かをおしえてくれました。節分の日に日本人は邪気
 や不運を追い払うために豆を食べます。そして、自分
 の年齢より一つ多くたべなければいけません。節分は
 とてもおもしろい行事です。日本の習慣についてもつ
 と知りたいです。

ひな祭り

日本伝統の雛祭りが今年も
 教室にやってきました。和室に
 美しく飾られた雛壇を見て
 学習者の皆さんはどのように感じましたか。学習者
 の皆さんが雛壇の横に並んで写真を撮っている姿は
 現代版お雛様のような様子でした。このあと教室で歌を歌い、
 桜餅を戴きました。楽しい雛祭りの夜でした。



<ひな祭りに参加した学習さんの感想>

(ベトナムの方)

国に居たとき、日本にはお祭りが多くよく聞いて
 いましたが、「ひな祭り」という女子の日を聞いたこと
 がなかったです。日本に来てから、女子の日だけで
 はなく、男子の日もあるのがわかりました。その日が
 近づくと、たくさんの飾り物を売っています。かわい
 くてしょうがないです。飾り物だけではなくスーパー
 やデパートでは食べ物をきれいにかざって売って
 います。日本語教室で、ひな祭りの物語を教えていた
 だきました。そのあと、昔からの七段飾りを見せて
 いただきました。本当におもしろかったです。

「今日のベトナムを知ろう！」

4月7日、「第4回
 福祉センターまつり」
 が行われ、日本語
 教室(夜間)からも
 「今日のベトナムを
 知ろう！」というテ

マで参加しました。第4会議室でベトナムに関する
 様々な展示—歴史、文化、言語、地図、観光などが



所狭しと並べられていました。当日は、4時間で180名の方たちがいらして帰りがけにお客様たちは、「ベトナムという国をよく知ることができました」「展示を見て、もう一度行ってみたいくなりました」「とても楽しかった!」「ぜひベトナムに行ってみよう」という感想を述べてくださいました。

5月5日 端午の節句

4月24日、端午の節句のお祝いをしました。教室の休憩時間になると、まずは端午の節句の由来を教え、新聞紙で兜を折ります。それぞれに兜をかぶったまま和室に移動して、飾りを眺めたり、「こいのぼり」の歌を歌ったりしました。集合写真を撮ってから、教室でおいしい柏餅をみんなで戴きました。



<端午の節句に参加した学習さんの感想> (韓国の方)

韓国にも5月5日の子供の日があります。日本とちがって、親が子どもに贈り物をあげ、子どもの行きたいところに連れて行ってもらえます。でも、日本のように「こいのぼり」や「五月人形」を飾ったり、「かしわもち」を食べたりはしません。だから、今回、教室での経験はとてもおもしろかったです。来年も参加したいです。



特集

今回の特集は、学習者の皆さんに「私の得意」または「私の好きなこと」について書いていただきました。

僕は旅が好き (イタリアの方)

僕の一番好きな事は旅です。色々な国に行きました。例えば、日本や中国やタイ等に行きました。

インドにも行きましたが、三か月前に行ってみただけで、時間が足りませんでした。いつも一人で出発します。少しさびしいが、もっといろんな事ができて、二か所にも行けます。次に休みを取ったら、次の国には彼女と出発したいです。

私が料理が得意 (ベトナムの方)

私の得意なことは料理を作ることです。お菓子と甘い物を作っています。食べ物が作りたい時はインターネットで作り方を探してビデオを見ながら作ります。

店の料理に比べて自分で作った料理はあまりおいしくなかった。でも料理を作る時、寂しいことを忘れて楽しくなります。それでストレスを感じた時とか寂しい時、甘い物を作って食べています。

私と水墨画 (中国の方)

私の好きなことは、水墨画を描くことです。私はよく人物や花や風景などを描きます。水墨画は、墨だけで方を入れたり抜いたり工夫して描きます。寂しい時にも、水墨画を描くとだんだんたのしくなります。

どくしょ (インドの方)

何人かの人々はインドの国民の大戦によって言われた言葉に触発されました。それはインドの国民の父=マハトマ・ガンジーの言葉です。「あなたは古着を着ても、良い本を買って読むようにしてください。」私はこの文に感動した一人です。

私は高校の後に本を読み始めて、最近のゴールデンウィークの休みまで続けました。最近の本は「極端な所有権」です。私の個人的な生活や職業生活の中で起きているすべての所有権と責任をどのように引き受けるのかを考えました。

だから本は私の生活の中でポジティブな役割を果たしています。

私はパンをつくるのがとくい (スウェーデンの方)

わたしのとくいなことはパンをつくることです。スウェーデンのパンやフランスパンもつくります。日本にき

てから一しゅうかんに二回やっています。スウェーデンのパンはとくべつなシロップをつかいます。あまくてとてもおいしいです。カリンさんはわたしのつくるパンがたぶん大好きだと思います。

コンピュータが好き (ベトナムの方)

私はコンピュータが好きです。子供の頃コンピュータがなかったが、ハッカーについての映画を見て、コンピュータが好きになりました。そのために、大学へ入った時、ソフトウェアの開発科を選びました。今までは10年ぐらいソフトウェア開発についての仕事をしました。仕事が忙しいですが、コンピュータが好きなので、楽しんでいきます。今後も続けると思っています。

へやのかたづけ (ベトナムの方)

私のとくいなことは、へやをかたづけることです。ベトナムからたくさんのもつをもってきました。お母さんには入りきれないと言われたけれども、私は小さくたたんですべてしまうことができました。へやをいつもきれいにしました。なんでもかんでもしまってしまうので、あとでひつようになった時、どこにしまったのかわからなくなることがあります。だから主人にしかられます。

お茶を点てる (中国の方)

私が得意なことは、お茶を点てることです。私の家族はみんなお茶をのむことが大好きです。そして、日本へ来た後、日本の茶道教室に通って、お茶の点て方を勉強しています。今は、うす茶の点て方を全部学びました。おけいこも上手になりました。時々、中国に戻った時、家族みんなの前でお茶を点てる時、とてもうれしいです。もっと中国の人に日本の茶道文化を伝えたいと思います。



物語をそうぞうして絵を描く (中国の方)

物語をそうぞうして、絵に表すのが得意です。最近ではドレスと関係ある物語にはまりました。例えば、ドレスを着てパーティーに行く絵とか、同窓会のときに着てい

くドレスの絵を描きました。なぜはまったかと言うと、同じアパートで同じ学校の友だちがドレスが大好きで、おひめさま生活をするのが好きって聞きました。いつもいっしょにいて、ドレスの絵やイラストを描いています。とっても楽しいです。

時間のある時はデザイン展に (中国の方)

私は美大生なので、家具や空間などのトレンドに注目しました。将来デザイン関係の仕事をしたい私にとって、一番重要なのは最新のトレンド情報を掌握することです。だから、時間のある時は、私はいつもいろいろなデザイン展を見に行きます。

私は写真を撮ることが好き (フィリピンの方)

写真を撮ることが好きです。理由としては主に思い出を可視化して残したい。お休みの際には、家族と一緒に公園へ写真を撮りに行きます。ニコン d5100 のエントリーレベルデジタル一眼レフカメラで RAW の写真を撮って、写真編集ソフトウェアで写真をレタッチし、RAW から JPEG に変換します。レタッチはちょっと時間がかかりますが、楽しいです。

☆ スタッフ募集

私たちと一緒に外国人の方に日本語を教えてください。ボランティアを募集しています。ご興味のある方は以下にご連絡ください。

国分寺市国際協会事務局

〒185-0034

国分寺市光町 1-46-8 ひかりプラザ 1 階

TEL:042-505-6132 FAX:042-505-6138

E-Mail:kia@mrj.biglobe.ne.jp



日本語でお困りの外国人の方

国分寺市国際協会日本語教室では、外国人の方が日本語が学べるように日本語教室を開催しています。お気軽にご相談ください。

水曜日 (19時~21時) 金曜日 (10時~12時)